

第 3 8 回 県民総合スポーツ大会
第 5 4 回 埼玉県サッカー少年団大会 東部南ブロック予選実施要領

実行委員会

委員長	中村 達興		
副委員長	渋谷 竹司	渡辺 泰勝	
運営委員	越谷 草加 三郷 吉川・松伏 八潮	堀内 照夫 河内 隆 古澤 壮介 今井 伸和 中里 幸生	谷口 弘晃 坂本 喜一郎 久野 孝太 小坂部 直人
実行委員	各会場責任者		
審判委員	鈴木 哲也		
フェアプレー・規律委員（兼）		八島 文徳 鈴木 哲也 渡辺 泰勝	渋谷 竹司 河野 雅明

第 3 8 回 県民総合スポーツ大会
第 5 4 回 埼玉県サッカー少年団大会 東部南ブロック予選実施要領

- 1 目 的 日本将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指す。
- 2 主 催 公益財団法人埼玉県スポーツ協会埼玉県スポーツ少年団／
公益財団法人埼玉県サッカー協会
- 3 共 催 埼玉県／埼玉県教育委員会
- 4 主 管 埼玉県スポーツ少年団サッカー部会
- 5 後 援 テレ玉／埼玉新聞社／読売新聞さいたま支局
- 6 運 営 各地区U-12サッカー指導者協議会等
- 7 期日会場 予選リーグ 9月20日(土) 松伏総合2面、番匠免2面、吉川旭1面、瀬崎1面
決勝リーグ 9月23日(祝) スカイパーク3面
予備日 9月27日(土) 番匠免2面、吉川旭1面
9月28日(日) 吉川旭1面
※全少U12大会が予定通り消化した場合に使用
上記で消化できない場合は、期日を再調整するかもしくは抽選とする。

8 参加資格

- (1) 2025年度埼玉県スポーツ少年団に登録済のチームであること。
- (2) 前(1)のチームに団員登録済の選手であり、13歳未満の小学生で、スポーツ安全保険又は傷害保険に加入していること。
- (3) 前(2)により当該単位団に登録済の選手は、本大会予選開始以降については、転校又は転居による場合を除き、他の単位団に追加登録して参加することはできない。
なお、地区予選運営責任者が定める期日までに新たに追加登録を完了した選手は、参加することができる。
- (4) 次の要件のすべてを満たす単位団は、2チームの参加を認める。ただし、地区予選を勝ち抜いたチームが参加する中央大会は、11人制での開催になることを考慮して判断すること。
- ① 17人以上の6年生を登録し、それぞれのチームに1人以上の6年生を登録すること。
- ② エントリー表に記載した選手は、地区予選終了までチーム間の移動をしないこと。
- ③ エントリー表に記載する監督・指導者はそれぞれのチームを兼務しないこと。
- ④ それぞれのチームに有資格審判員を2人以上帯同できること。
- (5) 前(1)のチームであって、少人数等のため単独では参加できないチームの救済措置として、次のいずれかの条件を満たす場合に限り、合同チームでの参加を認める。ただし、いずれの条件においても、同一地区内とし、あらかじめ地区運営責任者の承認を受けること。
なお、合同チームで参加する場合は、チーム名を「○○○・○○○合同」とし、統一したユニフォームでエントリーすること。
- ① 合同で参加する全てのチームの団員登録済の6年生が7人以下の場合は、合同するチーム数の制限は設けない、
- ② 合同で参加する一方のチームの団員登録済の6年生が7人以下の場合は、合同するチーム数は2チームまでとする。

9 参加資格の確認要領

- (1) 地区予選運営責任者は、(2)の要領により参加申込チームの参加資格について確認する。
疑義がある場合は直ちに埼玉県スポーツ少年団サッカー部会長に報告する。
(サッカー部会の審査により参加の可否を決定する。)
- (2) 組み合わせ抽選前までに、参加申し込みチームのエントリー表及びスポーツ少年団登録システムからダウンロードした名簿(団名、団員一覧、指導者一覧)を照合して確認する。

10 競技規則

日本サッカー協会競技規則 2024/25 及び 8人制サッカー競技規則による。

1 1 大会規定

以下の項目については、本大会の規定を定める。

- (1) 競技のフィールドは6 8 m×5 0 mを基準、ゴールは5 m×2. 1 5 mとする。
- (2) 試合球は4号J F A検定球とする。
- (3) 競技者の数
 - ① 1チーム8人の競技者によって行い、競技者のうち1人はゴールキーパーとする。6人以上で試合成立とする。
 - ② 退場者が出た場合は、交代要員の中から競技者を補充することができる。
 - ③ 交代要員の数は、12人以内とする。
- (4) ベンチ入りできる役員は、指導者として埼玉県スポーツ少年団に登録済の2人以上5人以下とする。
ただし、監督を含む2人以上は、理念を学んだ指導者として登録済でなければならない。
(役員・スタッフとして登録している者は、ベンチ入りできない。)
- (5) 競技者のユニフォーム・用具
 - ① 日本サッカー協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを着用しなければならない。
 - ② 本大会に登録した正・副2組のユニフォーム（シャツ、ショーツ、ソックス）を試合会場に持参し、着用しなければならない。なお、正・副の2色については、明確に異なる色とする。
 - ③ 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており、判別しがたいときは、両チーム立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
 - ④ 前③の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて判別しやすい組み合わせを決定することができる。
 - ⑤ 選手の用具の運用については、次のとおりとする。
 - ・ソックステープ等の色は問わない。
 - ・アンダーシャツ、アンダーショーツ及びタイツの色は問わない。ただし、チーム内で同色のものを使用する。
 - ・ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、主たる色が同色系であれば着用することができる。ただし、ビブス等は不可とする。
 - ⑥ **キャプテンが着用するアームバンドについて**
 - ・フィールド上にアームバンドなどを着用したキャプテンがいることを必須としない。
 - ・アームバンドの代用としてテープなどを着用することができる。
 - ・市販のメーカーロゴが入ったアームバンドの着用は認める。
 - ・スローガン、メッセージが入ったアームバンドの着用は認めない。
 - ⑦ ポイント取替式のスパイクの使用は認めない。
- (6) 試合時間は、40分（20分－5分－20分）とする。
なお、天候により、競技時間内に飲水タイム又はクーリングブレイクを設ける。
- (7) 選手交代
各試合のメンバー20人以内の範囲内で自由な交代とし、交代ゾーンを使用する。
 - ① 主審の承認を得ることなく、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中に関わらず行うことができる。
 - ② ゴールキーパーの交代は、ボールがアウトオブプレーのときに、主審に通知し、主審の承認を得て行う。なお、交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点からフィールドの外へ出なければならない。
 - ③ ゴールキーパーとフィールドプレーヤーとの入れ替えは、アウトオブプレーになったときに主審に通知し、承認を得て行うことができる。
 - ④ 交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
- (8) キックオフから直接得点することはできない。キックオフからのボールが直接相手ゴールに入った場合は、相手チームのゴールキックで再開する。

1 2 競技方法

(1) 予選リーグ

4チーム6ブロックでリーグ戦を行い、各ブロックの1位と2位が決勝リーグに進む。

- ①リーグ戦は勝ち点方式とする 同勝点の場合は、得失点差、総得点、当該試合の勝敗によって順位を決定する。
- ②上記でも決定しない場合は大会役員（2名）立会いのもと、コイントスにより決定する。

(2) 決勝リーグ

4チーム3ブロックでリーグ戦を行い、各ブロックの1位と2位の6チームを東部大会に推薦する

① リーグ戦は勝ち点方式とする 同勝点の場合は、得失点差、総得点、当該試合の勝敗によって順位を決定する。

② 上記でも決定しない場合は大会役員（2名）立会いのもと、コイントスにより決定する。

1.3 代表者会議

2025年9月6日（土） 18：30 越谷中央市民会館 4階16～18会議室

以下の書類を持参し大会本部の確認を受ける

- ① エントリー表 2部
- ② スポーツ少年団登録システムからダウンロードした単位団名簿（団名、団員一覧、指導者一覧、役員・スタッフ一覧）
- ③ エントリー費 1,000円／1エントリー
※上記の他、実施要項、確認事項、感染予防対策確認事項を持参する
- ④ 実施要項／確認事項

1.4 東部大会

- ・代表者会議 10月4日（土）17：30 春日部ウイングハット
- ・決勝戦 10月12日（日）幸手総合G ※雨天決行
- ・予備日 10月xx日（x）※調整中

1.5 その他

- （1）要項・確認事項の各条項が守られない場合、大会運営に対し不適切な行為があった場合については、本大会のフェアプレー・規律委員会において審議する。（JFA懲罰規定による。）
- （2）競技場内での水以外の“スポーツドリンク”等の持ち込み及び摂取については、JFA通達（2011.5.31）の趣旨に鑑み、使用会場と調整を図りその可否について決定すること。
- （3）熱中症対策及び落雷事故防止対策については、埼玉県サッカー協会第4種委員会からの「各チーム活動における留意事項等」のお願いについて（通知）（令和7年4月28日）を基準に対応すること。
- （4）新型コロナウイルス感染症拡大防止対策については、埼玉県U-12サッカー連盟ホームページに掲載の「サッカー活動にあたっての基本的な考え方」を参考として、引き続き十分な対応をとって活動すること。

以 上

第 3 8 回 県民総合スポーツ大会
第 5 4 回 埼玉県サッカー少年団大会 東部南ブロック予選確認事項

- 1 代表者会議
(1) 代表者会議は第 1 試合開始 4 5 分前とする。(時間厳守)
- 2 メンバー表提出
(1) メンバー表は各チームで試合数×1 部を用意して、試合の都度本部へ提出する。
代表者会議で確認を受けたエントリー表のコピー(カラーコピーはNG)をメンバー表として使用する。
(2) 必要事項を記入して試合開始 4 0 分前までに本部へ 1 部提出する。(時間厳守)
(3) 地区予選期間中の選手、背番号、ユニフォームについてはエントリー表提出後の変更は不可とする。※背番号は訂正可とする。(地区大会のみのローカルルール)
- 3 飲水タイム
必要に応じて(目安は 2 5℃以上)、試合の前・後半の半ばに飲水タイムを設けることができる。
(1) 取る場合審判は試合前に両チームへ伝える。
(2) 飲水タイムは試合時間に含めないこと。
- 4 審判
(1) 各チーム有資格者 2 名が帯同し、審判割当は当日の組合せ表に従う。
(2) 試合毎に審判証(W e b 登録画面も可)を本部に提示し確認を受ける。
(3) 審判の正装をして担当試合 1 0 分前に本部へ集合し、必ず打ち合わせを行う。
(4) 試合毎に選手チェック(背番号と名前を確認)と用具チェックを行う
(5) 試合終了後に審判報告書を記載し本部に提出する。
- 5 ユニフォーム
(1) エントリーした正・副のいずれかを着用する
メンバー表提出前に相手チームと協議し決定する。類似色等で決定できない場合は、主審(または本部)のトスで決定する。
- 6 ベンチ
(1) ベンチに入れる者は、メンバー表に記載された選手 2 0 名と監督・指導者・スタッフ 2 名以上 5 名以内とする。但し、監督・指導者はエントリー表に記載された人数以内とする。
(2) ピッチに向かって左側をホームチーム(組合せ表の左/上側)とする。
(3) ベンチからの指示は、テクニカルエリアまたは準ずるエリア内でその都度 1 名とする。
また、指導者としてふさわしい言動で行うこと。
(4) 退場を命じられた指導者は次の 1 試合は出場できない。
(5) ベンチでの喫煙、携帯電話、撮影等を禁止する。
(6) 試合中ベンチでのボールを使ったアップは禁止する。
- 7 退場、警告
(1) 累積警告数 2 回で、次の公式戦 1 試合目を出場停止とする。また、退場の場合は、次の公式戦 1 試合目を出場停止とする。
※公式戦とは本大会東部予選・中央大会、4 種リーグ、4 種選手権、4 種新人戦
(2) 警告については南ブロック予選のみ累積し、東部及び中央大会には持ち越さない。
(3) 出場停止処分は同一大会内での消化を原則とする。
勝ち上がり場合は本大会内で消化、敗退した時点から次の公式戦(4 種リーグ、新人戦等)に順次繰り越す。
- 8 試合球
(1) 各チーム公認 4 号ボールを持参する。(記名、空気圧を確認しておく)
(2) 空気圧は 0. 8 気圧とする。
- 9 ウォーミングアップ
(1) 試合中のグラウンド外のアップは指定された場所でおこなう。
(2) ハーフタイム中のピッチ内での練習は当該チームのみとする。
- 1 0 会場マナー
(1) 駐車場については、会場責任者の指示に従い駐車証を必ず掲示すること。
駐車証(運転者名、チーム名)がない場合は駐車場への入場を認めない。

- (2) タバコの吸殻、缶、ビン等のごみは各チームで収納し持ち帰る。
- (3) 応援の保護者・関係者にも上記マナーを遵守するよう各チームが責任を持って対応する。

1 1 天候その他事由による中断・中止の処置

- (1) 雨天の場合は、地区責任者より各チームへその対応を連絡する。(AM6:30)
- (2) 試合途中で中断した場合、再開後の試合時間は規定の試合時間の残り時間とする。
再開できない場合は、その時点での得点をもって試合終了とする。
但し、当該試合がトーナメント戦等で勝者を決定する必要がある場合で、かつ同点の場合は主審のトスにより勝者を決定する。
- (3) 試合が開始できない場合は、大会本部が行う抽選により勝者を決定する。

以上